

大正三年四月

朝鮮巨文島附近に濃霧信号所設置を以て

外務省

文書課長

同 年 月 日
同 年 月 日
同 年 月 日

送第 號

主管

書

第 三 〇 〇 〇 号

一九〇三年四月九日

日本郵政のたむけ野田郵便局に

以書翰致海上候所者密年七月三十日迄

外務省

船にレイヤ号運難、際日本帝國海官憲

に救助をよへられたに對し本國政府、謝意本年

三月十四日付地翰亦三三三号を以て閣下、致傳

達候事及び後右並様ニ關スル海軍局ニ審

判致決了候に付、本候ニ茲ニ右記ノ事項

ヲ閣下ニ通知スル、先ニ采テ右候即チ候僅

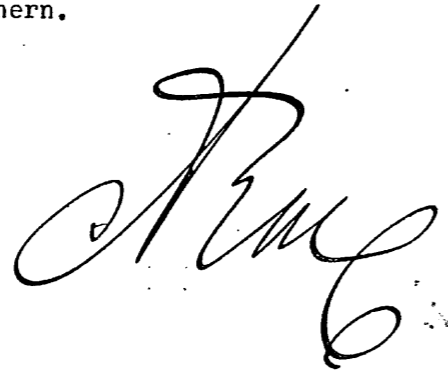
ニ帝國海軍局に判決ニ依リ本船運難ハ

歸天所定に照シ透明ノ度ト陸地ニ距離トシ

沿信... 中... 海軍...
 同判決... 朝鮮... 巨文島...
 近... 信号所... 設置... 其必要...
 希望... 表候... 今回... 座標...
 其... 地... 接近... 拘...
 濃霧... 為... 燈... 見...
 確... 此... 有... 候...
 信号所... 一般航海業... 為... 海軍省
 外務省
 及内務省... 其設置...
 熟望... 巨文島... 濃霧...
 之所... 建設... 候事...
 下... 言... 致... 本國政府... 接...
 外務省... 海軍省...
 感... 候... 何... 向...
 外務省... 海軍省... 向... 表...
 敬意...

empfohlen haben, bin ich von meiner Regierung beauftragt,
anzuregen, ob nicht bei dem Feuer von Port Hamilton (Korea
eine Nebelsignalstation eingerichtet werden könnte. Eu-
erer Exzellenz würde ich dankbar sein, wenn Sie in diesem
Sinne mit den zuständigen Behörden in Verbindung treten
wollten.

Indem ich einer gütigen Antwort Eurer Exzellenz
entgegensehe, benutze ich auch diesen Anlass, Ihnen, Herr
Minister, meine ausgezeichnetste Hochachtung erneut zu
versichern.

A handwritten signature in cursive script, likely belonging to a Japanese official, positioned below the main text of the document.

Kaiserlich
Deutsche Botschaft.

Tokio, den 9. April 1913.

Nr. 38.

受領
封

通信
省

02008

大正貳年四月拾日接受

大正貳年四月十日記録課第二部接受

商通
第二課

Handwritten notes in Japanese, including a signature and date.

Herr Minister !

In meiner Note Nr. 32 vom 14. März 1913 hatte ich die Ehre, Euerer Exzellenz den Dank meiner hohen Regierung für die bei Strandung des Dampfers „Silesia“ am 30. Juli 1912 geleistete Hilfe der Kaiserlich Japanischen Behörden auszusprechen. Nachdem inzwischen die seeamtliche Untersuchung über die Strandung des Dampfers stattgefunden hat, habe ich die Ehre, Euerer Exzellenz folgendes mitzuteilen:

Nach dem Spruch des Kaiserlichen Seeamts in Hamburg ist der Unfall darauf zurückzuführen, daß an Bord die Sichtigkeit der Luft und der Abstand vom Lande überschätzt worden sind. Gleichzeitig hat das Kaiserliche Seeamt sich dahin geäußert, daß es sehr wünschenswert sei, daß bei dem Feuer von Port Hamilton in Korea eine Nebelsignalstation eingerichtet werde. Es ist festgestellt worden, daß, als das Schiff auf dem Felsen saß, das Feuer, trotz der unmittelbaren Nähe wegen des Nebels unsichtbar geblieben ist.

Nachdem auch das Kaiserlich Deutsche Reichsmarineamt sowie das Reichsamt des Innern die Errichtung einer solchen Station im allgemeinen Schifffahrtsinteresse sehr

Seiner Exzellenz

empfohlen

dem Kaiserlich Japanischen Minister

der Auswärtigen Angelegenheiten

Herrn Baron M a k i n o .

次友

大正二年四月廿二日發

大正二年四月廿二日發
同 廿二日發
別紙

送第 一八八 號

主管通商局長

外務次官

通信次官

各各別

朝鮮總督府
政務總監

朝鮮巨文島附近濃霧

外務省

信辨所設置希望書及件

本件、因に在本邦獨國大使、
別紙に、通申由、右右右右、
と備表、と、及、及、及、及、
低、低、低、低、低、低、低、
此、此、此、此、此、此、此、
追、追、追、追、追、追、追、
置、置、置、置、置、置、置、

第 門 第
第 類
第 項 第

送第 一八八 號

大正二年四月廿二日發

別
様
在
本
邦
拘
留
者
の
取
扱
に
関
し
て
の
事
件

外
務
省

次

1919
第1門
第1

大正二年四月廿二日發受

大正二年四月二十一日起
同 年 月 日 附

送第 四五 號

主管 通商局長

田

考

庫

田

浄書 校正 原

大臣

在本部

獨國大使宛

朝鮮巨文島附近 濃霧

信号前誤置希望 是文件

大正二年四月二十一日

外務省

以書翰致送上云 陽者 奉命 七月

貴島濃霧 七月 陽者 奉命 七月

貴島取中村少 朝鮮 巨文島燈台附近

濃霧 信号 誤置 希望 是文件

閣下 本月 十九日 附 送 貴島 濃霧

貴島 濃霧 七月 陽者 奉命 七月

閣下 本月 十九日 附 送 貴島 濃霧

閣下 本月 十九日 附 送 貴島 濃霧

皇太子殿下御教書ノ表シテ教旨

外務省

3-2191

0293



第1項第1類第1門第1第

第09530號

大正貳年四月廿九日接受

評長

第二課

逕信省

管第四二五號

田彦 大正貳年四月廿九日
逕信次官大場勝太郎

外務次官松井慶四郎殿



朝鮮巨文島燈臺附近濃霧
信強所設望希望之関スル件

本件、朝鮮總督府主官ノ事項ニ屬
シ、右ニ了知相成致ス

大正貳年四月廿九日 逕信省第二課 接受

10089

大正二年五月六日 第二課

遞信第一二七號

大正二年五月五日

朝鮮總督府遞信局長官池田

朝鮮總督 長官之印

外務次官松井慶四郎殿

巨文島附近濃霧信辨所
設置希望之函件

(對送第四七號)

本件、閣下御來示、趣了承右
當高、於其必要、認ノ
濃霧信辨所設置候補地
ト云テ、計劃致之候、矣
朝鮮總督府遞信官署
付將來相當時期、
設方可、計矣、條御、
知相成、候也

以信

大正二年五月拾貳日

文書課長

大正二年五月拾貳日接受

69

通書

大正二年五月九日 起算森
同 年 五月 十三日 附

送第 五 四 號

主管 通商局長

在

在

在 奉 邦

外 務 省

獨 逸 大 使 宛

朝鮮 巨文島 燈臺 附近、濃霧

信 務 所 設 置 方 案 件

外 務 省

以 為 願 望 留 上 候 陳 述 案 月 九 日 附 才

三 八 号 貴 翰 以 下 海 中 越 越 年 候 朝

鮮 巨 文 島 燈 臺 附 近、濃 霧 信 務

所 設 置 方 案 件、關 係 同 月 二 十 三

日 附 送 才 四 五 号、シ 以 下 及 局 回 答

置 才 以 下 有 一 号 本 今 般 關 係 官

廳 有 本 件、就 下 同 官 廳、於

一 七 其 一 必 要、ヲ 認 之 同 官 廳 燈 臺 附

燈恩附進上
臣等亦日
見之不安
内之不安

中ノ課務付強
地ノ夫ノ計劃
於其時期、於
中越々々存
達方可能
進房有方臣
ワテ敬意之表
候敬矣

外務省